

令和 5 年 度
事 業 報 告 書

令和 6 年 5 月 2 2 日

学校法人 杉野学園

目 次

I	学校法人の概要	
1	主要な運営指標等の推移	1
2	建学の精神と使命	3
3	沿革	4
4	学校法人杉野学園 組織・付属機関等	5
5	学部・課程、学科・科別収容定員・入学定員・入学者数等及び学位授与数	8
6	入試に関する状況	11
7	就職・進学等の状況	13
8	検定試験に関する状況	14
9	教員数等	16
10	役員の状況	17
II	令和5年度事業概要	19
III	財務の概要	
1	資金収支計算書	25
2	事業活動収支計算書	31
3	貸借対照表	36
4	財産目録	39

I 学校法人の概要

学校法人杉野学園は、教育基本法及び学校教育法に従い、建学の精神に則った学校教育を行い、服飾に関する有為な人材を育成することを主たる目的としています。

この目的を達成するために設置された学校法人杉野学園の令和5年度における概要は以下のとおりです。

1. 主要な運営指標等の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
学所在籍者数(名)					
杉野服飾大学大学院	5	9	9	8	8
杉野服飾大学	788	795	796	767	713
杉野服飾大学短期大学部	83	71	55	21	-
ドレスメーカー学院	186	197	172	147	141
杉野幼稚園	75	62	79	80	87
入学志願者数(名)					
杉野服飾大学大学院	6	6	6	6	6
杉野服飾大学	305	305	257	245	199
杉野服飾大学短期大学部	48	40	26	-	-
ドレスメーカー学院	84	79	68	68	49
杉野幼稚園	32	15	30	45	25
教職員数(名)					
杉野服飾大学大学院	2	2	2	1	1
杉野服飾大学	165	162	171	169	167
杉野服飾大学短期大学部	24	21	27	13	0
ドレスメーカー学院	45	49	43	43	42
杉野幼稚園	10	10	10	10	9
事業活動収入(単位:百万円)	1,500	1,524	1,500	1,382	1,389
事業活動支出(単位:百万円)	1,538	1,562	1,584	1,575	1,571
資金収入(単位:百万円)	1,751	1,791	1,689	1,678	1,582
資金支出(単位:百万円)	1,821	1,855	1,800	1,762	1,784
借入金残高(単位:百万円)	423	293	238	208	177

注) 杉野服飾大学短期大学部は令和3年度より学生募集を停止し、令和5年度に廃校しました。

(単位：%)

比 率	算 式	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額	△2.5	△2.5	△5.3	△14.0	△13.1
	事業活動収入					
基本金組入後収支比率	事業活動支出	105.2	103.5	111.8	119.0	130.2
	事業活動収入-基本金組入額					
学生生徒納付金	学生生徒納付金	79.5	77.3	75.7	74.7	71.6
	経常収入※1					
人件費比率	人件費	55.2	55.2	57.6	60.9	63.7
	経常収入					
教育研究経費比率	教育研究経費	31.3	33.0	35.3	39.6	40.2
	経常収入					
管理経費比率	管理経費	15.9	14.3	12.7	13.3	13.4
	経常収入					
流動比率	流動資産	105.7	109.2	113.4	103.0	69.0
	流動負債					
負債率	総負債	30.6	28.2	25.6	24.6	26.5
	総資産					
純資産構成比率	純資産	76.5	78.0	79.6	80.2	79.0
	負債+純資産					
基本金比率	基本金	97.4	97.7	98.2	98.5	98.9
	基本金要組入額					
教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額	4.2	6.6	△1.2	△4.5	△5.4
	教育活動資金収入計					

※1 経常収入=教育活動収入+教育活動外収入

2. 建学の精神と使命

本学園の創設者杉野芳子は、日本の近現代の過渡期にあつて、単身渡ったアメリカで自分自身の生活体験の中から西洋衣裳の制作技術と服飾文化を身に付けて、帰国後日本における服飾教育を開始した。その目指すところは日本における洋装の普及定着と服飾技術の習得による女性の自立であった。彼女は洋装を日本人に適合させるための洋裁技術としてドレメ式原型を考案し、日比谷公会堂で日本初のファッションショーを開催するなど、日本における服飾教育の確立とモードの創出に取り組んだ。彼女はファッションを 20 世紀の新しい芸術の一分野として捉え、パリのエレガンスを日本に紹介した。彼女の取り組みの全てがパイオニア精神で満たされている。

本学園の建学と展開の理念は、挑戦（チャレンジ）の精神、創造する力、自立（自己実現）する能力である。

21 世紀初頭に入った現在、日本の服飾に関する産業と社会はかつてないほど国際化が進行し、素材生産から消費市場に至るすべての局面で様々な課題に直面している。この状況の中で、現在及び未来の日本のファッション産業の道を切り拓くチャレンジ精神をもって、芸術性・技術力と文化的教養に基づいた創造力を養い、専門職業人として社会で自立する能力のある人材を送り出すことが本学園の使命である。

3. 沿革

大正	15年	(1925)	3月	ドレスメーカー・スクール（現ドレスメーカー学院）を創立する		
			11月	ドレスメーカー女学院と校名変更する		
昭和	5年	(1930)	4月	洋服本科を開設する		
			14年	(1939)	6月	デザイナー養成科を開設する
			24年	(1949)	4月	通信教育科を開設する
			25年	(1950)	4月	杉野学園女子短期大学被服科を開学する
			11月		杉野学園服飾図書館を開館する	
			26年	(1951)	2月	学校法人杉野学園として認可される
			32年	(1957)	5月	杉野学園衣裳博物館を開館する
			33年	(1958)	4月	学院にデザインアート科を開設する
			36年	(1961)	4月	学院にドレスメーカー養成科を開設する
					4月	ドレメ通信教育講座が文部省認定となる
			37年	(1962)	4月	短大に生活芸術科を増設する
			39年	(1964)	4月	杉野学園女子大学家政学部被服学科を開学する
					4月	杉野学園女子短期大学を杉野学園女子大学短期大学部と校名変更する
41年	(1966)	4月	大学、短大を杉野女子大学、杉野女子大学短期大学部と校名変更する			
43年	(1968)	4月	学院に職業科を開設する			
46年	(1971)	4月	杉野百草幼稚園（現杉野幼稚園）を開園する			
48年	(1973)	4月	大学に学芸員課程を置く			
		10月	学院の職業科を産業教育科と名称変更する			
51年	(1976)	4月	学院は専修学校制度の創設に伴う服飾専門課程（専門学校）として認可される			
63年	(1988)	8月	ドレスメーカー女学院をドレスメーカー学院と校名変更する			
平成	7年	(1995)	4月	学院の本科と師範科を改組し、服飾造形科を開設する		
			12年	(2000)	4月	学院にファッションビジネス科、ファッションデジタル編集科、ファッション研究科を開設する
			4月		学院の産業教育科を改組し、アパレル技術科と名称変更する	
	4月	中国の浙江工程学院（現浙江理工大学）と友好交流協定を締結する				
	13年	(2001)	4月	日野市（日野キャンパス）に日野校舎G棟（General Block）を竣工する		
			4月	大学の教育課程を改定。1・2年次を共通の基礎課程とし、3年次以降を専門課程とする		
	14年	(2002)	4月	大学、短大を杉野服飾大学（服飾学部服飾学科）、杉野服飾大学短期大学部（服飾学科）と校名変更し、男女共学とする		
			4月	日野市（日野キャンパス）に日野校舎R棟（Representation Block）を竣工する		
			4月	ロシアのモスクワ国立繊維大学と日露服飾協力協定を締結する		
	15年	(2003)	3月	短大の生活芸術科を閉科する		
	19年	(2007)	4月	学院に高度アパレル専門科を開設。デザイナー科をアパレルデザイン科と名称変更する		
	20年	(2008)	12月	中国の浙江紡織服装職業技術学院と「両校友好交流に関する協定」を締結する		
	21年	(2009)	4月	大学にファッションデザイン専攻科を開設する		
	22年	(2010)	9月	杉野服飾大学日中服飾専門課程を浙江紡織服装職業技術学院に開設する		
	23年	(2011)	4月	学院のファッションビジネス科をファッションサービス科と名称変更する		
12月			SUGINO HALLを竣工する			
24年	(2012)	4月	大学に大学院造形研究科造形専攻を開設する			
25年	(2013)	4月	学院のデザインアート科の募集を停止する			
27年	(2015)	4月	大学の教育課程を改定。1年次よりモードテクノロジー系とファッションビジネス系に分け初年次教育とし、2年次以降を専門教育課程とする			
		4月	ドレメ通信教育講座の募集を停止する			
29年	(2017)	2月	学院のアパレル技術科、高度アパレル専門科は文部科学省より職業実践専門課程として認定される			
		4月	学院のファッションサービス科をファッションビジネス科と名称変更する			
30年	(2018)	1月	ドレメ通信教育講座を廃止する			
		2月	学院の服飾造形科、ファッションビジネス科は文部科学省より職業実践専門課程として認定される			
		4月	大学の服飾学部服飾表現学科を増設する			
令和	3年	(2021)	4月	杉野服飾大学短期大学部の令和4年度生の学生募集を停止する		
			5年	(2023)	3月	杉野服飾大学短期大学部を廃校する。
4月	大学の服飾学部服飾文化学科を増設する。					

4. 学校法人杉野学園 組織・付属機関等

学校法人杉野学園（以下「法人」）は、教育基本法及び学校教育法に従って、学校を設置することを目的に設置された法人であり、現在杉野服飾大学、ドレスメーカー学院及び杉野幼稚園の3校を設置している。

法人組織における役員及び諸機関と役割は次の通りである。

組 織

理事会

本学の教育・研究の充実及び向上を目的とする有効適切な経営管理を行うため、その基本的な施策、方針、計画等本法人の業務を決定する法人の最高の意思決定機関である。

予算や決算、重要な資産の処分、寄附行為の変更等の重要な事項はすべて理事会の議決を経なければならない。

【構成員9名中現員9名（令和5年4月1日現在）】

理事長

法人の代表者である。また、法人内部の業務の総括者（私立学校法第37条）であり、理事会、評議員会の招集者である。

評議員会

法人の業務若しくは財産の状況、役員の業務執行の状況について役員に対して意見を述べ、諮問に答え、役員から報告を徴することができる機関である。

【構成員21人以上28人以内中現員23名（令和5年4月1日現在）】

監事

法人の業務及び財産の状況を監査し、監査報告書を作成し、理事会・評議員会に提出する。

【構成員2名中現員2名（令和5年4月1日現在）】

学長

大学の代表者であり、大学教職員の統督者（学校教育法第92条）である。この他、法人の設置する学校の長として、ドレスメーカー学院院長、幼稚園園長がいる。

大学

大学は学長によって代表され、そのスタッフとして学部長、教務部長、学生部長、就職部長等がいる。大学全体の審議機関として、大学教授会がある。また、学長のもとに各委員会が常設され、大学の重要な事項が諮られる。

ドレスメーカー学院

ドレスメーカー学院には、院長が置かれ、学生部長、就職部長、各科長、学年主任などの役職者がいる。また、院長のもとに教員会議が組織され、重要な事項が諮られる。

幼稚園

幼稚園には、園長が置かれ、主任がいる。また、園長のもとに職員会議が組織され、重要な事項が諮られる。

付属機関

図書館

図書館には、館長が置かれ、館長は、理事長の命を受けて館務を総括し、図書館を代表する。

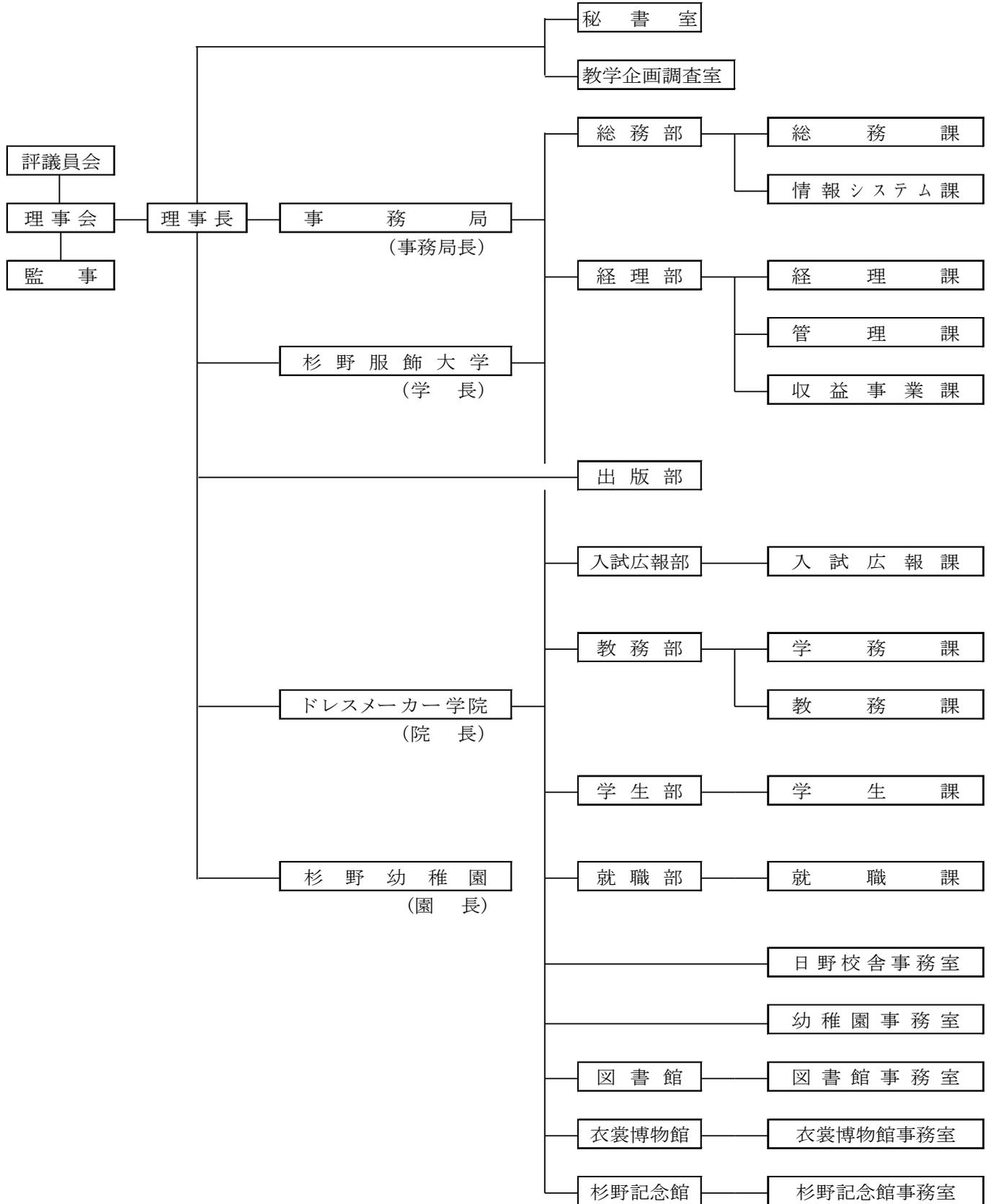
衣裳博物館・博物館分室

博物館には、館長が置かれ、館長は、理事長の命を受けて館務を総括し、博物館を代表する。

杉野記念館

記念館には、館長が置かれ、館長は、理事長の命を受けて館務を総括し、記念館を代表する。

学校法人杉野学園 事務組織図(令和5年4月1日)



5. 学部・課程、学科・科別収容定員・入学定員・入学者数等及び学位授与数

(各年度5月1日現在)

杉野服飾大学大学院 造形研究科

(単位:人)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収容定員	20	20	20	20	20
入学定員	10	10	10	10	10
入学者数	5	5	4	4	4
在籍者数	5	9	9	8	8
修了生数	0	4	3	4	4
学位授与数	0	4	3	4	4

杉野服飾大学 服飾学部 服飾学科

(単位:人)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収容定員	860	860	860	860	860
入学定員	200	200	200	200	200
入学者数	198	178	187	150	127
在籍者数	743	726	706	672	608
修了生数	153	164	154	157	149
学位授与数	153	164	154	157	149

杉野服飾大学 服飾表現学科

(単位:人)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収容定員	160	160	160	160	160
入学定員	40	40	40	40	40
入学者数	24	29	24	23	37
在籍者数	45	69	90	95	104
修了生数	—	—	16	22	24
学位授与数	—	—	16	22	24

杉野服飾大学 服飾文化学科(令和5年度設置)

(単位:人)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収容定員	—	—	—	—	160
入学定員	—	—	—	—	40
入学者数	—	—	—	—	1
在籍者数	—	—	—	—	1
修了生数	—	—	—	—	0
学位授与数	—	—	—	—	0

杉野服飾大学短期大学部 服飾学科

(単位:人)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収容定員	100	100	100	0
入学定員	50	50	50	0
入学者数	40	31	25	0
在籍者数	83	71	55	21
修了生数	40	38	26	21
学位授与数	40	38	26	21

(注)短期大学部は令和3年度より学生募集を停止し、令和5年度に廃校しました。

杉野幼稚園

(単位:人)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収容定員	315	315	315	315	315
入学定員	105	105	105	105	105
募集者数	54	54	45	45	55
入学者数	31	14	29	31	25
園児数	75	62	79	80	87
年少	31	14	29	31	23
年中	17	31	17	31	32
年長	27	17	33	18	32
卒園児数	26	19	33	18	32

ドレスメーカー学院

(単位:人)

学科名	修業 年限	令和元年度					令和2年度				
		入学定員	総定員	入学者数	在籍者数	卒業者数	入学定員	総定員	入学者数	在籍者数	卒業者数
服飾造形科	2年	70	140	56	97	37	70	140	42	93	51
アパレル技術科	3年	30	90	18	46	14	30	90	12	40	13
ファッションビジネス科	2年	30	60	8	11	3	30	60	12	18	6
高度アパレル専門科	4年	15	60	0	21	6	15	60	12	27	8
アパレルデザイン科	1年	35	35	11	11	11	35	35	19	19	19
計		180	385	93	186	71	180	385	97	197	97

学科名	修業 年限	令和3年度					令和4年度				
		入学定員	総定員	入学者数	在籍者数	卒業者数	入学定員	総定員	入学者数	在籍者数	卒業者数
服飾造形科	2年	70	140	33	64	27	70	140	43	72	28
アパレル技術科	3年	30	90	15	41	14	30	90	14	36	8
ファッションビジネス科	2年	30	60	9	19	10	30	60	3	9	5
高度アパレル専門科	4年	15	60	9	22	6	15	60	7	21	0
アパレルデザイン科	1年	35	35	26	26	26	35	35	9	9	8
計		180	385	92	172	83	180	385	76	147	49

学科名	修業 年限	令和5年度				
		入学定員	総定員	入学者数	在籍者数	卒業者数
服飾造形科	2年	70	140	25	65	37
アパレル技術科	3年	30	90	10	31	12
ファッションビジネス科	2年	30	60	5	7	2
高度アパレル専門科	4年	15	60	8	28	6
アパレルデザイン科	1年	35	35	10	10	10
計		180	385	58	141	67

6. 入試に関する状況

杉野服飾大学大学院 造形研究科

(単位:人)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
志願者数	6	6	4	6	6
入学者数	5	5	3	4	4

杉野服飾大学 服飾学部 服飾学科

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
志願者数	246	242	209	191	154	
入学者数	198	178	163	150	126	
内 訳	AO 入試(総合型)	109	107	78	70	54
	推薦	66	54	74	67	63
	一般	9	9	5	9	7
	センター(共通テスト)	13	8	6	4	2
	社会人	1	0	0	0	0

杉野服飾大学 服飾学部 服飾表現学科

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
志願者数	59	63	48	54	42	
入学者数	24	29	24	23	38	
内 訳	AO 入試(総合型)	15	13	6	6	16
	推薦	8	9	15	14	19
	一般	0	0	3	2	1
	センター(共通テスト)	1	7	0	1	1
	社会人	0	0	0	0	1

杉野服飾大学 服飾学部 服飾文化学科

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
志願者数					3
入学者数					1
内 訳	AO 入試(総合型)				1
	推薦				0
	一般				0
	センター(共通テスト)				0
	社会人				0

令和5年度設置

杉野服飾大学 短期大学部

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
志願者数		48	40	26	令和3年度募集停止	
入学者数		40	31	25		
内 訳	AO入試(総合型)	26	14	10		
	推薦	14	16	14		
	一般	0	0	0		
	センター(共通テスト)	0	0	0		
	社会人	0	1	1		

杉野幼稚園

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
志願者数	32	15	30	45	25
入学者数	31	14	29	31	25

ドレスメーカー学院

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
志願者数	84	79	68	68	49
入学者数	82	77	65	68	48

7. 就職・進学等の状況

杉野服飾大学

年度	卒業生数	就職希望者数		就職者数	就職率	進学者数
	人	人	%	人	%	人
令和5年度	173	141	81.5	137	97.2	9
令和4年度	180	148	82.2	136	91.9	3
令和3年度	170	139	81.8	109	78.4	8
令和2年度	164	136	82.9	96	70.6	0
令和元年度	153	125	81.7	114	91.2	7

注:就職率(%)は、就職希望者に占める就職者の割合を示します。(ドレスメーカー学院についても同じ)

注:杉野服飾大学には、大学院・専攻科の人数は含まれない。

ドレスメーカー学院

年度	卒業生数	就職希望者数		就職者数	就職率	進学者数
	人	人	%	人	%	人
令和5年度	67	31	46.3	26	83.9	22
令和4年度	49	29	59.2	21	72.4	12
令和3年度	83	52	62.7	41	78.8	10
令和2年度	97	54	55.7	29	53.7	32
令和元年度	71	44	62.0	41	93.2	20

8. 検定試験に関する状況

令和5年度 検定試験結果

杉野服飾大学

(単位：名)

検 定 名	受験者数	合格者数	合格率	備 考	
ファッション色彩能力 検定	3 級	63	48	76.2%	モード 45 名 (合格 34 名) テキスタイル 10 名 (合格 7 名) プロダクト 6 名 (合格 5 名) マネジメント 2 名 (合格 2 名)
	2 級	87	35	40.2%	モード 71 名 (合格 27 名) インダストリアル 1 名(合格 1 名) テキスタイル 15 名(合格 7 名)
ファッションビジネス能力検定	3 級	43	22	51.2%	マネジメント 43 名 (合格 22 名)
	3 級科目	22	11	50.0%	マネジメント 43 名 (合格 22 名)
	2 級	11	4	36.4%	マネジメント 10 名 (合格 4 名) 表現 1 (合格 0 名)
	2 級科目	4	3	75.0%	マネジメント 4 名 (合格 3 名)
ファッション販売能力検定	3 級	44	21	47.7%	1 年 6 名 (合格 6 名) モード 1 名 (合格 1 名) 表現 1 名 (合格 1 名) マネジメント 2 名 (合格 1 名) イノベーション 34 名 (合格 12 名)
	3 級科目	4	2	50.0%	イノベーション 4 名 (合格 2 名)
	2 級	20	7	35.0%	インダストリアル 1 名 (合格 1 名) マネジメント 2 名 (合格 2 名) イノベーション 17 名 (合格 0 名)
	2 級科目	4	3	75.0%	イノベーション 4 名 (合格 3 名)
パターンメイキング技術検定	3 級	16	10	62.5%	インダストリアル 16 名 (合格 10 名)
	2 級	10	1	10.0%	インダストリアル 10 名 (合格 1 名)

令和5年度 検定試験結果

ドレスメーカー学院

(単位：名)

検定名	服飾造形科			ファッションビジネス科			アパレル技術科			高度アパレル専門科			
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	
ファッション色彩能力検定	3級	20	19	95.0%	6	3	50.0%	6	5	83.3%	3	3	100.0%
	2級	2	2	100.0%				5	5	100.0%	3	3	100.0%
ファッションビジネス検定	3級	20	16	80.0%	5	2	40.0%	10	10	100.0%	4	4	100.0%
	2級	14	6	42.9%	2	1	50.0%	6	4	66.7%			
ファッション販売能力検定	3級				6	3	50.0%						
	2級				1	1	100.0%						
パターンメイキング技術検定	3級	21	20	95.2%				9	9	100.0%	5	5	100.0%
	2級							12	11	91.7%	9	4	44.4%
	1級							7	0	0.0%			
洋裁技術検定	初級	23	23	100.0%				9	9	100.0%	3	3	100.0%
	中級	33	29	87.9%				7	4	57.1%	5	5	100.0%
	上級												
フォーマルスベシヤリスト検定準	2級	22	22	100.0%	6	4	66.7%	11	11	100.0%	5	5	100.0%
ブライダルファッションプランナー検定								4	4	100.0%	1	1	100.0%

9. 教員数等

1. 専任教員(令和5年5月1日現在)

(単位:人)

所 属	学長等	教授	准教授	講師	助教	助手	教諭	合計
大 学	1	26	1	10	9	11	0	58
幼 稚 園	1	0	0	0	0	0	6	7
ドレスメーカー学院	1	9	0	2	4	0	0	16
合 計	3	35	1	12	13	11	6	81

【契約専任教員(令和5年5月1日現在)】 上表の人数の内数

(単位:人)

	学長等	教授	准教授	講師	助教	助手	教諭	合計
大 学	0	9	0	3	9	11	0	32
幼 稚 園	0	0	0	0	0	0	0	0
ドレスメーカー学院	0	4	0	1	4	0	0	9
合 計	0	13	0	4	13	11	0	41

2. 専任職員(令和5年5月1日現在)

(単位:人)

	専任	常勤嘱託	合 計
本 部	0	1(0)	1(0)
大 学	11(7)	28(23)	39(30)
幼 稚 園	0	1(1)	1(1)
ドレスメーカー学院	6(5)	1(1)	7(6)
合 計	17(12)	31(25)	48(37)

注:上記()書きは女性の数で内数

10. 役員 の概要

理事（定員 9名 現員 9名）

令和5年4月1日現在

	氏名	就任年月日	常勤・非常勤の別	業務執行・非業務執行の別	現職	責任免除・責任限定契約 補償契約・役員賠償責任保険契約 の状況
1	中村 賢二郎	H15.4.1	常勤	業務執行	理事長 杉野記念館館長	私大協役員賠償責任保険契約
2	加藤 敬	R5.4.1	常勤	業務執行	杉野服飾大学学長	私大協役員賠償責任保険契約
3	佐々木 千春	H27.4.1	常勤	業務執行	ドレスメーカー学院院長	私大協役員賠償責任保険契約
4	北折 貴子	H29.3.30	常勤	業務執行	杉野服飾大学服飾学部長・教授	私大協役員賠償責任保険契約
5	岡 正子	H29.3.30	非常勤	非業務執行	岡学園トータルデザインアカデミー校長 (株)エコマコ代表取締役	私大協役員賠償責任保険契約
6	白井 勝美	R3.3.30	常勤	業務執行	杉野服飾大学学長補佐・教授・教務部長	私大協役員賠償責任保険契約
7	遠山 壽一	H18.1.20	非常勤	非業務執行		私大協役員賠償責任保険契約
8	内藤 朗	H30.9.27	非常勤	非業務執行		私大協役員賠償責任保険契約
9	河上 恭雄	R2.4.1	非常勤	非業務執行		私大協役員賠償責任保険契約

監事（定員 2名 現員 2名）

令和5年4月1日現在

	氏名	就任年月日	常勤・非常勤の別	業務執行・非業務執行の別	現職	責任免除・責任限定契約 補償契約・役員賠償責任保険契約 の状況
1	石橋 和男	R5.3.30	非常勤	非業務執行	公認会計士	私大協役員賠償責任保険契約
2	伊藤 勲	R5.3.30	非常勤	非業務執行		私大協役員賠償責任保険契約

評議員（定員 21～28名 現員 23名）

令和5年4月1日現在

	氏名	就任年月日	現職
1	白井 勝美	H13.3.30	理事 杉野服飾大学学長補佐・教授・教務部長
2	峯岸 恵	H15.3.30	ドレスメーカー学院教授
3	瀬古 徹	H25.3.30	杉野服飾大学教授・同大学院造形研究科長
4	水上 雅子	H29.3.30	杉野服飾大学教授
5	柴田 弘子	H25.3.30	入試広報部長・学生課長
6	宮本 泰子	H25.3.30	秘書室長・教務事務部長・学務課長
7	萩原 寿郁	R5.3.30	事務局長
8	山崎 裕史	R5.4.1	経理部長
9	北折 貴子	H23.3.30	理事 杉野服飾大学服飾学部学部長・教授
10	吉川 玲子	H23.3.30	
11	相場 千枝	H15.3.30	杉野服飾大学特任講師
12	森田 裕子	H23.3.30	
13	坂野 ヨシミ	H11.3.30	
14	岡 正子	H29.3.30	理事 岡学園トータルデザインアカデミー校長 (株)エコマコ代表取締役
15	鈴木 美和子	H11.3.30	
16	加藤 敬	R5.4.1	理事 杉野服飾大学学長
17	佐々木 千春	H27.4.1	理事 ドレスメーカー学院院長
18	白井 映子	R4.6.1	杉野幼稚園園長
19	中村 賢二郎	H15.4.1	理事長 杉野記念館館長
20	遠山 壽一	H18.1.20	理事
21	内藤 朗	H29.3.30	理事
22	福永 成明	H16.7.28	(有)ファッションリンクス代表
23	河上 恭雄	R2.4.1	理事

II 令和5年度事業概要

1. 第3期中期計画の推進

18歳人口の長期的な減少傾向、卒業生の主な就職先であるアパレル・ファッション産業の長期的な展望、第2期の学園の中期計画期間中における入学者数の推移に鑑み、令和3年度に策定した第3期中期計画を令和5年度に見直しを行った。令和6年度以降も改定後の第3期中期計画に沿い、各学校の教育活動の外部への発信を強化して志願者数の増加を実現し、財務基盤の強化を目指す。

令和5年度に、大学に新たに服飾文化学科を開設したが、実質的に効果的な募集活動の開始が遅れたこと等から、十分な入学者を確保することができなかった。

更に、服飾教育分野における志願者数の減少等に伴い、杉野服飾大学及びドレスメーカー学院の入学者が近年減少傾向であることから、令和6年度より入学定員をそれぞれ90名削減することを決定した。

当学校法人の経常的な収支バランスを示す経常収支差額は、近年支出超過が続いており、繰越収支差額は厳しい状況となっている。そのため、令和6年度～8年度の3か年を「財政改革推進期間」と位置づけ、入学者数の確保に最大の努力を傾注する一方で、業務改善や徹底した経費削減を行う等の方針に基づき、令和6年度予算を編成した。

国の高等教育の修学支援新制度が令和2年4月から開始され、杉野服飾大学、ドレスメーカー学院共に支援対象校として認定されている。令和6年度から機関要件が見直され厳しくなることから、新型コロナ禍の影響など経済的理由で学業が継続できない学生への支援を含めて学生生徒への支援をこれまで通り継続するため、東京都等から情報収集を行った。

また、令和5年度に大学校舎の冷暖房設備の計画的な改修に着手し、教育環境の改善を進めた。

2. 教育活動情報の発信の強化

令和2年度のホームページの刷新に伴いIT媒体による広報活動を拡充してきた。

令和3年度より、大学の各学科のコース・専攻の教育活動の中からITによる発信が望ましい情報を入試広報部の情報発信作業チームに提供するための組織として、学生募集実行委員会を改組し、各学科の適任者によるプロジェクトチームを発足させた。

ドレスメーカー学院についても、各学科の適任者によるプロジェクトチームとして新しい「広報活動委員会」を発足させた。

これらの体制によって、誘導的WEB広告の実施、SNSの有効利用、高校生・留学生を対象とした計画的な広報活動を行って来た。令和5年度は動画配信YouTubeを強化し、また、若者に人気のInstagram、TikTok、などのSNSを駆使し本学の教育情報を毎日発信した。また、高校の進路指導、担任等と双方向でコミュニケーションが取れるWebシステム【SYMPA】を活用して、学校推薦指定校先や入試日程など高校に直接情報を発信してコミュニケーションの強化を

図った。

3. 認証評価の受審

令和5年度に杉野服飾大学では日本高等教育評価機構による「認証評価」を受審した。これは、学校教育法第109条第2項の規定に沿って、7年間ごとに文部科学大臣の認証を受けた同機構による評価を受けるものである。

具体的な日程は、令和5年6月に「杉野服飾大学 自己点検評価書」「エビデンス集（データ編）」「エビデンス集（資料編）」の必要部数と電子データを日本高等教育評価機構に提出した。その後10月25日～27日に5名の評価員と2名の機構担当者による実地調査が実施された。大学自己点検評価委員会は、令和4年度当初から準備を開始した。この準備機会を活用して評価対象となる「内部質保証」を効果的に実施していく組織体制を改めて整えてきた。具体的には「教学マネジメント機関」の設置である。本学では、内部質保証を担当する委員会は設置せずに「教学マネジメント機関」「大学自己点検評価委員会」を中心に内部質保証の向上を図っていく方針とした。

認証評価の結果、本学は令和6（2024）年4月から令和13（2031）年3月までの間認証を受け、無事認証評価を終了した。

評価結果は、優れた点5点、参考意見1点、改善を要する点2点であった。今回の評価の中心課題であった「内部質保証」については、体制が確立していることが認められた。改善を要する2点は、服飾表現学科及び服飾文化学科の収容定員充足率であり、本学としても課題として捉えていた点であり、改善に向けての最優先課題である。そのほか、大学の「教学マネジメント機関」の規定化については、理事長と学長で規定化に着手した。

「認証評価」から得た多くの知見により、さらに授業改善をはじめ学内改善に努めていきたい。

4. 外部評価の実施による授業改善

杉野服飾大学では、学生による授業アンケート、学生との意見交換会等を実施するほか、就職先企業及び卒業生による外部評価を実施している。

令和2年度から新型コロナウイルス禍ということもあり、多くの本学学生を採用していただいている企業数社と現在もアパレルで活躍している各コースからの卒業生数名ずつに依頼し、大学外部授業評価アンケートを行った。アンケート結果を基にコース主任が授業改善案を作り、できることから改善を試みている。また、その内容は自己点検評価委員会でも意見を聞いて今後役に立てホームページにもアップした。令和5年度は令和3年度完成年度を迎えた服飾表現学科の卒業生も就職後1年経つことから服飾表現学科5専攻も加えて実施し授業改善を行った。

5. 杉野服飾大学の教育活動

令和5年4月からは時短でなく今まで通りの時間で平常授業を行った。これにより、コロナ感

感染症流行前の教育活動状態にすべて回復することとなった。

令和5年度の卒業制作発表会はすべて対面式で行った。一部招待制にしたことから、昨年同様に3月上旬から学習支援システム「manaba」にて在校生に発信を行った。また、高校生に向けてホームページにも掲載した。

令和5年4月に、服飾文化の伝統や歴史を学び豊かでサステイナブルな未来のファッションの創造を目指す服飾文化学科を開設した。本年度から初年次が始まったが、今後更に設備等を含めた整備を一層充実させる。

更には、今後は若手教員のスキルアップや育成のため積極的に研究を促し、本学の紀要への発表や学会発表を行うように指導する。これらの取組みにより、教員の研究能力の向上を図っていく予定である。令和5年度は、講師や助教の紀要掲載や本学のギャラリーUにおいて若手助手の発表を11月に行った。

6. ドレスメーカー学院の教育活動

ドレスメーカー学院では、令和5年度も自己点検・評価委員会を中心とした点検・評価を推進した。その一環として11月と12月に「教育課程編成委員会」を、令和6年3月と4月に「学校関係者評価委員会」を開催した。外部評価を受け、改革に取り組み、その内容を公表する。また、令和6年度に第三者評価を控えており、令和5年度の自己点検・評価報告書の提出が必要となる。

また、前年度まで新型コロナ禍で実施を見送っていたドレメセミナーについて、7月23日に再開した。

更に学生や指定校等のテキストとして使用する「Doreme New Pattern Book」を発行した。

7. 杉野幼稚園の幼児教育の推進

杉野幼稚園では、ホームページのブログで園の保育活動を紹介してきたことで本園に興味を持っていただき、問い合わせ数が増えた。また、本年度も未就園児保護者向けの幼稚園フェアなどにも積極的に参加し、広く知ってもらえるよう努めた。

一方、在園児保護者からの口コミで入園を決めた保護者もいるため、更なる保育の質の向上を目指し、職員の園内研修などの充実を図るなど、様々な方法で園児獲得を目指す。また、現在の保護者の要望をリサーチすると、防犯設備強化、エアコン完備や満3歳児保育導入があり、令和6年度から改善できる案件から検討に入りたい。

8. 杉野服飾大学日中服飾専門課程の教育の推進

中国浙江省寧波市所在の浙江紡織服装職業技術学院（高卒後3年制の服飾専科学校）と合作で同学院に平成22年9月に開設した「杉野服飾大学日中服飾専門課程」は、毎年80名から90

名の学生を迎え令和5年9月には、86名が入学し順調に運営されている。

服飾造形など本学が担当する授業については、ここ数年新型コロナウイルス感染症拡大の影響により教員を派遣できなかったが、令和5年度より派遣を開始、6月の卒業制作発表会、10月の入学式には4年ぶりに学長が出席した。

毎年卒業生の10名前後が杉野服飾大学に編入しており、令和5年度は11期生12名が4月に編入学した。引き続き、日中服飾専門課程の教育を推進する。

平成26年度から日中服飾専門課程の学生を招聘して行っている「杉野服飾大学で日本のファッションと文化を見て学ぶ短期研修旅行」は、令和5年度も中止した。

9. 国際交流の推進

コロナ禍前は、ベルギーアントワープ研修旅行をはじめ、パリ・プレタポルテコレクション研修旅行、夏期イギリスの短期留学プログラム、その外ニューヨーク州立ファッション工科大学で学ぶニューヨークファッション研修旅行などを企画し、学生の国際感覚を身につける機会を数多く設けて開催していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりここ3年間中止している。令和5年度も国際情勢など不安定な状況のためすべてのプログラムを中止した。

また、交流協定を締結している中国浙江理工大学との交流については、「杉野服飾大学で日本のファッションと文化を見て学ぶ短期研修旅行」を再開して、7月に学生22名、引率教員2名が来日した。また、新たにイタリアの大学や中国の大学から協定締結の申し出があり、令和6年2月にイタリアから2名の代表と、3月には中国から5名の代表団が来校、現在話し合いを進めている。

10. 全国ファッションデザインコンテストの開催

本学園が主催する全国ファッションデザインコンテストは本年度、60回目を迎えた。昨年同様、本審査、ファッションショー、表彰等を10月14日に杉野ホールで実施した。

11. 杉野服飾大学附属図書館の利用サービス拡大

図書館が学外者への利用サービスとして実施している年間登録制度は、これまで元教職員と卒業生を対象としていたが、令和5年度より服飾に興味関心を持ち、探究及び調べ学習をする高校生に高校生もサービスの対象とした。この登録制度の対象拡大は、高校生の学修支援と本学入学希望者の獲得、高大連携、本学入学後の円滑な学修支援を目的とするものである。

上記の高校生向け年間登録制度の案内について、図書館ホームページに掲載するとともに、オープンキャンパスや高校訪問時配布用のパンフレットを作成し、入試広報課に配布を依頼した。なお、今年度の高校生の登録者は3名であった。

また、これまで有料であった年間登録制度の登録料・更新料を無料とした（ただし再発行料は

有料)。年間登録制度利用者の利用時間は開館時間内、利用範囲は閲覧・複写に限るとしている。

1 2. 杉野学園衣裳博物館企画展・常設展示の開催

衣裳博物館では、令和5年4月10日から7月28日まで「2023年度前期展示 色をよそおうー黒いドレスを中心にー」展を開催した。服飾における重要な要素のひとつである色彩に焦点を当てて展示を行う。1階展示室では「黒のよそおい」の代名詞とも言われる「リトル・ブラック・ドレス」を中心とした黒を用いたドレスを、また2階展示室では色鮮やかなドレスを展示し、色による表現の違いを視覚的に体感することを目的とした。

特に、新入生にとって服飾と色との関わりを認識するきっかけとなるよう配慮するとともに、一般見学者にとっても知識を深める内容となることを目指した。

また、令和5年9月19日から令和6年1月29日まで「民族衣装入門」展を開催し、1階にウズベキスタン、インド、グアテマラ、アイヌ、2階にブルガリア、ルーマニアの民族衣装を展示した。本展では、民族衣装の表面的な美しさだけではなく、それぞれの民族における歴史や習俗、宗教などに付随する文化的な要素に着目し、民族服を通して様々な文化的背景の理解を目的とした。

なお、入館に際しては引き続き新型コロナ感染拡大予防の観点から、換気や手指消毒、入館人数の制限などの予防策をとった。

1 3. 夏期セミナーの再開準備と中学生に対するものづくり教室等の開催

前年度まで新型コロナ禍により中止してきた高校の教員に向けての「夏期セミナー」について、以前からの参加者アンケート意見も取り入れて、本年度の10月までにセミナーで使用する試作によりセミナー内容の充実を図り、DM作成によりホームページ等にも掲載した。

本セミナーは、令和6年3月1日から受付を開始しており、造形としてバックや装飾技法、ファッションビジネスや服飾史、PCの技術など多岐にわたり講座を展開し、8月5・6日の2日間で行う予定である。

杉野服飾大学が実施してきた目黒区、品川区、大田区の中学生を対象としたものづくり教室「中学生ファッショングッズセミナー」が、令和5年度は新型コロナ禍で中止となった。今後、再開できるように検討する予定である。その他産学連携事業も積極的に検討し行っていく予定である。

1 4. ドレスメーカー学院の社会貢献活動

社会貢献活動としては、衣服のリユースでパラスポーツを応援する産経新聞主催の「ふくのわプロジェクト」の協力のもと、リユースの専門家の指導を受けながら回収した古着を学園祭で販売し、その収益金をこのプロジェクトに寄付する活動を平成29年度から行っている。本年度も実施した。

アパレルや繊維関係の企業より SDG's の一環として余剰在庫や廃棄素材の提供受け、産学連携授業で制作を実施した。その一部は学園祭「ドレメ祭」や「尾州フェス」にてファッションショーとして発表した。

また、地域交流の一環として品川区、目黒区の小学生を対象に、洋裁を学ぶ「ドレメ・キッズスクール」を7月27日に開催した。

他にも学園総体や財団が取り組む社会貢献事業に参加した。

15. 目黒商工まつり・目黒リバーサイドフェスティバルへの参加

新型コロナ禍前には、地域交流の一環として目黒商工会議所が主催する目黒商工祭り「目黒リバーサイドフェスティバル」に大学、ドレスメーカー学院が参加して、各校の特色を活かした作品展示やワークショップを行っていた。ここ数年参加を控えていたが、令和5年度は、ドレスメーカー学院ファッションビジネス科がワークショップを行い、大学の学生自治会がボランティアスタッフとして参加し地域交流を深めた。

II 財務の概要

令和5年度における学校法人杉野学園（以下「当法人」という。）の予算の執行状況について、その概要を以下の通り報告します。

（1）資金収支計算書

「資金収支計算書」は、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容と、当該会計年度における支払資金の収入及び支出の顛末を明らかにしたものです。この計算書の特徴として、資金収支調整勘定があります。当該年度に係る収入や支出を前年度以前に受入れ又は支払ったもの、並びに翌年度以降に受入れ又は支払うものについて調整勘定を用いて修正を行い、支払資金の顛末を明らかにしています。

資金収入合計は、収益事業からの繰入れ5,000万円を含めて15億8,204万円となり、予算を3,633万円下回りました。

資金支出合計は17億8,353万円となり、予算を2億6,683万円下回りました。これは、人件費、教育研究費、管理経費をはじめとして執行抑制を努力した結果、主要な科目で予算額を下回った結果です。

この結果、翌年度繰越支払資金について、前年度より減少したものの2億3,891万円を翌年度に繰り越すことができました。

① 資金収入

学生生徒納付金収入は9億5,843万円となりました。内容は授業料（保育料）、入学金、実験実習料、施設設備整備費及び幼稚園無償化に伴う日野市からの施設等利用給付金であり、学費納入学生・生徒等の数は大学院が8人、大学713人、ドレスメーカー学院141人、幼稚園が87人でした。

手数料収入は1,219万円となりました。入学検定料がそのほとんどを占めています。そのため、入学志願者数について、学生の確保に向けた有効な対策を実施するよう努めています。

寄付金収入では、「学校法人杉野学園創立100周年記念事業募金」を令和5年度に開始したことにより、予算額を425万円上回り532万円となりました。

補助金収入は、日本私立学校振興・共済事業団執行の「私立大学等経常補助金」や東京都からの「私立学校経常費補助金」等により教育活動状況を反映した結果です。令和5年度は就学支援新制度に基づく授業料等減免の原資となる「授業料等減免交付金」及び本年度より着手した大学校舎の冷暖房設備更新のための補助金を加えて、2億1,130万円となりました。

② 資金支出

人件費支出は8億5,731万円となり、予算額を2,696万円下回りました。前年度と比して、教職員人件費は1,259万円の減となっていますが、退職金が3,973万円増加しています。

令和5年度（5月1日現在）における専任教員数は、大学が58人、ドレスメーカー学院

16人、幼稚園が7人となっています。専任職員数は48人となり、これら本務教職員以外に兼務教職員（非常勤教職員）を配置しています。

教育研究経費支出は3億6,803万円であり、支出の内訳は、各学校の教育研究所活動に必要な消耗品、光熱水費、旅費交通費、印刷費、保守費、委託料及び奨学金が主なものです。令和5年度は新たな修学支援新制度による授業料等の減免者が見込みより少なく奨学金支出で支弁したことと、各経費について節約の努力により予算額を9,168万円下回りました。

管理経費支出は1億7,046万円となり、予算額を2,263万円下回りました。学生募集、各学校全般に係る経費及び法人の運営に必要な諸経費が主な支出です。

なお、管理経費支出の経常的経費については、引き続き節減・合理化や効率的な執行を徹底しました。

大学校舎等の整備に伴う私学事業団からの借入金の返済も順調に進め、3,044万円を返済しました。

また、施設関係支出は第三校舎の空調設備改修工事の着手により1億151万円、設備関係支出は学部システムの更新等によるソフトウェア支出の計上など3,840万円となっています。

学校法人杉野学園

資金収支計算書

令和5年4月 1日から

令和6年3月31日まで

収入の部

(単位:千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	978,039,000	958,429,500	19,609,500
授業料収入	652,740,000	630,350,000	22,390,000
保育料収入	301,000	476,355	△ 175,355
入学金収入	58,280,000	61,190,000	△ 2,910,000
実験実習料収入	40,545,000	42,150,000	△ 1,605,000
施設整備資金収入	200,269,000	197,153,500	3,115,500
施設等利用給付費収入	25,904,000	27,109,645	△ 1,205,645
手数料収入	8,444,000	12,190,817	△ 3,746,817
入学検定料収入	7,189,000	10,687,000	△ 3,498,000
証明手数料収入	905,000	1,028,100	△ 123,100
大学入学共通テスト実施手数料収入	350,000	475,717	△ 125,717
寄付金収入	1,071,000	5,319,000	△ 4,248,000
特別寄付金収入	900,000	5,146,000	△ 4,246,000
一般寄付金収入	171,000	173,000	△ 2,000
補助金収入	242,604,000	211,300,083	31,303,917
国庫補助金収入	199,450,000	164,764,300	34,685,700
地方公共団体補助金収入	43,154,000	46,535,783	△ 3,381,783
資産売却収入	0	70,000	△ 70,000
車輛売却収入	0	70,000	△ 70,000
付随事業・収益事業収入	117,619,000	145,902,814	△ 28,283,814
補助活動事業収入	48,766,000	51,302,745	△ 2,536,745
収益事業収入	30,000,000	50,000,000	△ 20,000,000
公開講座等収入	360,000	6,207,388	△ 5,847,388
浙江杉野共同教育事業収入	38,493,000	38,392,681	100,319
受取利息・配当金収入	2,000	2,856	△ 856
その他の受取利息・配当金収入	2,000	2,856	△ 856
雑収入	28,103,000	54,708,421	△ 26,605,421
施設設備利用料収入	0	50,800	△ 50,800

私大退職金財団交付金収入	25,263,000	48,013,480	△ 22,750,480
その他の雑収入	2,840,000	6,644,141	△ 3,804,141
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	317,896,000	370,571,090	△ 52,675,090
授業料前受金収入	155,960,000	164,520,000	△ 8,560,000
入学金前受金収入	58,680,000	75,795,000	△ 17,115,000
実験実習料前受金収入	20,300,000	25,295,000	△ 4,995,000
施設設備資金前受金収入	78,690,000	96,740,000	△ 18,050,000
補助活動事業前受位金収入	4,266,000	6,982,000	△ 2,716,000
その他前受金収入	0	1,239,090	△ 1,239,090
その他の収入	302,400,000	307,522,104	△ 5,122,104
奨学振興引当特別資産取崩収入	0	14,140	△ 14,140
前期末未収入金収入	41,000,000	41,652,688	△ 652,688
預り金受入収入	228,000,000	234,934,295	△ 6,934,295
立替金精算収入	0	114,392	△ 114,392
仮払金精算収入	400,000	2,581,362	△ 2,181,362
収益事業勘定受入収入	33,000,000	28,225,227	4,774,773
資金収入調整勘定	△ 377,803,000	△ 483,799,673	105,996,673
期末未収入金	△ 59,907,000	△ 139,818,813	79,911,813
前期末前受金	△ 317,896,000	△ 343,980,860	26,084,860
前年度繰越支払資金	452,126,000	440,394,713	
収入の部合計	2,070,501,000	2,022,611,725	47,889,275

支出の部

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	884,271,000	857,314,058	26,956,942
教員人件費支出	528,718,000	503,620,787	25,097,213
職員人件費支出	303,433,000	277,471,362	25,961,638
役員報酬支出	17,820,000	17,004,609	815,391
退職金支出	34,300,000	59,217,300	△ 24,917,300
教育研究経費支出	459,710,000	368,030,918	91,679,082
消耗品費支出	22,003,000	17,051,540	4,951,460
光熱水費支出	71,974,000	63,361,732	8,612,268
旅費交通費支出	16,497,000	10,618,248	5,878,752
印刷費支出	6,261,000	5,609,551	651,449
通信運搬費支出	8,883,000	6,558,846	2,324,154

修繕費支出	30,795,000	14,909,451	15,885,549
保守費支出	89,037,000	73,375,461	15,661,539
保険料支出	4,208,000	2,890,703	1,317,297
諸会費支出	6,361,000	9,529,179	△ 3,168,179
福利厚生費支出	31,841,000	29,855,546	1,985,454
会議費支出	306,000	771,432	△ 465,432
報酬・委託・手数料支出	72,901,000	61,425,592	11,475,408
奨学金支出	88,496,000	63,330,900	25,165,100
賃借料支出	7,307,000	5,842,756	1,464,244
雑費支出	2,840,000	2,899,981	△ 59,981
管理経費支出	193,089,000	170,458,043	22,630,957
消耗品支出	4,329,000	2,590,562	1,738,438
光熱水費支出	3,000,000	2,479,035	520,965
旅費交通費支出	4,677,000	3,274,780	1,402,220
印刷費支出	22,446,000	20,511,296	1,934,704
通信運搬費支出	7,128,000	5,919,457	1,208,543
修繕費支出	422,000	505,756	△ 83,756
広告費支出	53,469,000	52,433,914	1,035,086
補助活動事業費支出	33,415,000	29,816,583	3,598,417
保守費支出	16,222,000	7,270,908	8,951,092
保険料支出	417,000	308,603	108,397
公租公課支出	1,010,000	678,308	331,692
諸会費支出	1,806,000	1,458,400	347,600
福利厚生費支出	3,555,000	2,649,040	905,960
会議費支出	802,000	312,166	489,834
渉外費支出	204,000	180,194	23,806
報酬・委託・手数料支出	36,862,000	37,126,665	△ 264,665
賃借料支出	1,819,000	1,836,321	△ 17,321
雑費支出	1,506,000	1,106,055	399,945
借入金等利息支出	945,000	937,718	7,282
借入金利息支出	945,000	937,718	7,282
借入金等返済支出	30,440,000	30,440,000	0
借入金返済支出	30,440,000	30,440,000	0
施設関係支出	133,625,000	101,508,000	32,117,000
建物支出	133,625,000	101,508,000	32,117,000
設備関係支出	25,366,000	38,400,091	6,965,909

教育研究用機器備品支出	22,910,000	16,967,195	5,942,805
管理用機器備品支出	1,495,000	2,363,950	△ 868,950
図書支出	961,000	861,801	99,199
ソフトウェア支出	20,000,000	18,207,145	1,792,855
資産運用支出	900,000	5,146,965	△ 4,246,965
退職給与特定資産繰入支出	0	253	△ 253
奨学振興引当特定資産繰入支出	900,000	5,146,712	△ 4,246,712
その他の支出	347,294,000	315,746,270	31,547,730
前期末未払金支払支出	79,594,000	52,877,307	26,716,693
預り金支払支出	228,000,000	231,042,810	△ 3,042,810
前払金支払支出	6,300,000	1,251,391	5,048,609
立替金支払支出	0	114,392	△ 114,392
仮払金支払支出	400,000	2,581,362	△ 2,181,362
収益事業勘定支払支出	33,000,000	27,879,008	5,120,992
予備費	(20,000,000) 10,000,000		10,000,000
資金支出調整勘定	△ 55,279,000	△ 104,278,159	48,999,159
期末未払金	△ 54,439,000	△ 97,911,782	43,472,782
前期末前払金	△ 840,000	△ 6,366,377	5,526,377
翌年度繰越支払資金	20,140,000	238,907,821	△ 218,767,821
支出の部合計	2,070,501,000	2,022,611,725	47,889,275

【注記】予備費使用額内訳

設備関係支出	20,000,000
ソフトウェア支出	20,000,000

(2) 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、当該会計年度の事業活動収入と事業活動支出の内容と均衡の状態を教育活動収支、教育活動外収支、特別収支に区分して明らかにしています。事業活動収支計算書は発生主義により計上され、採算性を把握するために利用されており、減価償却費等の資金支出のないものも含んでいます。学校経営の健全な発展に向け、当該会計年度の収支の均衡状況と長期的な収支の均衡状況を明らかにするために利用されています。

教育活動収支は、2億8,219万円の支出超過となりました。学生生徒等納付金をはじめとする教育活動収入の合計が12億8,824万円に対して、人件費、教育研究経費、管理経費の教育活動支出の合計が15億7,042万円となったことによるものです。教育活動外収支は収益事業からの繰入れを5,000万円行ったことから、4,907万円の収入超過となっています。経常収支差額は2億3,311万円の支出超過となりました。

これらにより、令和5年度の基本金組入前当年度収支差額は1億8,232万円の支出超過となり、1億3,938万円の基本金組入れを行ったことにより、当年度収支差額は3億2,170万円の支出超過となりました。

事業活動収支計算書

令和5年4月 1日から

令和6年3月31日まで

(単位:円)

		科目	予算	決算	差異
教育活動収入の部		学生生徒等納付金	978,039,000	958,429,500	19,609,500
		授業料	652,740,000	630,350,000	22,390,000
		保育料	301,000	476,355	△ 175,355
		入学金	58,280,000	61,190,000	△ 2,910,000
		実験実習料	40,545,000	42,150,000	△ 1,605,000
		施設設備資金	200,269,000	197,153,500	3,115,500
		施設等利用給付費	25,904,000	27,109,645	△ 1,205,645
		手数料	8,444,000	12,190,817	△ 3,746,817
		入学検定料	7,189,000	10,687,000	△ 3,498,000
		証明手数料	905,000	1,028,100	△ 123,100
		大学入学共通テスト実施手数料	350,000	475,717	△ 125,717
		寄付金	1,071,000	6,384,443	△ 5,313,443
		特別寄付金	900,000	5,146,000	△ 4,246,000
		一般寄付金	171,000	173,000	△ 2,000
		現物寄付	0	1,065,443	△ 1,065,443
		経常費等補助金	192,604,000	160,621,083	31,982,917
		国庫補助金	149,450,000	114,164,300	35,285,700
		地方公共団体補助金	43,154,000	46,456,783	△ 3,302,783
		付随事業収入	87,619,000	95,902,814	△ 8,283,814
		補助活動事業収入	48,766,000	51,302,745	△ 2,536,745
		公開講座等収入	360,000	6,207,388	△ 5,847,388
		浙江杉野共同教育事業収入	38,493,000	38,392,681	100,319
		雑収入	28,103,000	54,708,421	△ 26,605,421
		施設設備利用料	0	50,800	△ 50,800
		私大退職金財団交付金収入	25,263,000	48,013,480	△ 22,750,480
		その他の雑収入	2,840,000	6,644,141	△ 3,804,141
	教育活動収入計	1,295,880,000	1,288,237,078	7,642,922	
	人件費	891,285,000	852,773,906	38,511,094	
	教員人件費	528,718,000	503,620,787	25,097,213	

教育 活動 支出 の 部	職員人件費	303,433,000	277,471,362	25,961,638
	役員報酬	17,820,000	17,004,609	815,391
	退職給与引当金繰入額	4,896,000	47,810,048	△ 42,914,048
	退職金	36,418,000	6,867,100	29,550,900
	教育研究経費	641,876,000	537,757,311	104,118,689
	消耗品費	22,003,000	18,116,983	3,886,017
	光熱水料	71,974,000	63,361,732	8,612,268
	旅費交通費	16,497,000	10,618,248	5,878,752
	印刷費	6,261,000	5,609,551	651,449
	通信運搬費	8,883,000	6,558,846	2,324,154
	修繕費	30,795,000	14,909,451	15,885,549
	保守費	89,037,000	73,375,461	15,661,539
	保険料	4,208,000	2,890,703	1,317,297
	諸会費	6,361,000	9,529,179	△ 3,168,179
	福利厚生費	31,841,000	29,855,546	1,985,454
	会議費	306,000	771,432	△ 465,432
	報酬・委託、手数料	72,901,000	61,425,592	11,475,408
	奨学金	88,496,000	63,330,900	25,165,100
	賃貸料	7,307,000	5,842,756	1,464,244
	雑費	2,840,000	2,899,981	△ 59,981
	減価償却費	182,166,000	168,660,950	13,505,050
	管理経費	201,182,000	179,885,392	21,296,608
	消耗品費	4,329,000	2,590,562	1,738,438
	光熱水費	3,000,000	2,479,035	520,965
	旅費交通費	4,677,000	3,274,780	1,402,220
	印刷費	22,446,000	20,511,296	1,934,704
	通信運搬費	7,128,000	5,919,457	1,208,543
	修繕費	422,000	505,756	△ 83,756
	広告費	53,469,000	52,433,914	1,035,086
	補助活動事業費	33,415,000	29,816,583	3,598,417
	保守費	16,222,000	7,270,908	8,951,092
	保険料	417,000	308,603	108,397
	公租公課	1,010,000	678,308	331,692
	諸会費	1,806,000	1,458,400	347,600
	福利厚生費	3,555,000	2,649,040	905,960
	会議費	802,000	312,166	489,834

		渉外費	204,000	180,194	23,806
		報酬・委託・手数料	36,862,000	37,126,665	△ 264,665
		賃貸料	1,819,000	1,836,321	△ 17,321
		雑費	1,506,000	1,106,055	399,945
		減価償却費	8,093,000	9,427,349	△ 1,334,349
		徴収不能額等	0	0	0
		教育活動支出計	1,734,343,000	1,570,416,609	163,926,391
		教育活動収支差額	△ 438,463,000	△ 282,179,531	△ 156,283,469
教育活動外収支	事業	受取利息・配当金	2,000	2,856	△ 856
		その他の受取利息・配当金	2,000	2,856	△ 856
	活動収入	その他の教育活動外収入	30,000,000	50,000,000	△ 20,000,000
		収益事業収入	30,000,000	50,000,000	△ 20,000,000
		教育活動外収入計	30,002,000	50,002,856	△ 20,000,856
	事業活動支出	借入金利息	945,000	937,718	7,282
		借入金利息	945,000	937,718	7,282
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	945,000	937,718	7,282
			教育活動外収支差額	29,057,000	49,065,138
		経常収支差額	△ 409,406,000	△ 233,114,393	△ 176,291,607
特別収支	事業活動収入	資産売却差額	0	69,999	△ 69,999
		車輛売却差額	0	69,999	△ 69,999
		その他の特別収入	50,000,000	50,728,222	△ 728,222
		現物寄付	0	49,222	△ 49,222
		施設整備補助金	50,000,000	50,679,000	△ 679,000
		特別収入計	50,000,000	50,798,221	△ 798,221
	事業活動支出	資産処分差額	0	45	△ 45
		教育研究用機器備品除却差額	0	36	△ 36
		管理用機器備品除却差額	0	9	△ 9
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	0	45	△ 45
		特別収支差額	50,000,000	50,798,176	△ 798,176
		予備費	(0) 30000000		30,000,000
		基本期組入前当年度収支差額	△ 389,406,000	△ 182,316,217	△ 207,089,783
		基本金組入額合計	△ 54,387,000	△ 139,384,219	84,997,219
		当年度収支差額	△ 443,793,000	△ 321,700,436	△ 122,092,564

前年度繰越収支差額	△ 7,813,746,000	△ 7,621,624,813	△ 192,121,187
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△ 8,257,539,000	△ 7,943,325,249	△ 314,213,751

(参考)

事業活動収入計	1,375,882,000	1,389,038,155	△ 13,156,155
事業活動支出計	1,765,288,000	1,571,354,372	193,933,628

(3) 貸借対照表

貸借対照表は、当法人の期末における資産、負債及び純資産の状況を明らかにしたものです。学校法人会計では、資産の評価は取得価額で行うこととし、固定資産のうち、時の経過によって価値が減少するものについては、定額法によって減価償却を行うこととしています。

基本金は、学校法人が教育研究活動を行う上で必要な資産の額で、建物や機器備品等の固定資産や資金等の額を示しています。現預金の残高と直接的な関係はなく、基本金と同額の資金が実際に保有されているというものではありません。学校法人が維持すべき資産を金額で示したものです。

- ・ 第1号基本金

設立当初に取得した固定資産や、教育の充実・発展のために取得した固定資産の額（土地、建物、機器備品、図書等の取得価額）

- ・ 第4号基本金

経常的に維持すべき資金の額

本年度末の固定資産は、53億2,143万円となり、前年度末より3,300万円減少しました。増減の主な要因は第三校舎の空調設備改修工事等により建物が増加し、構築物等が減価償却により減少しています。流動資産については、3億8,008万円となり、前年度より1億878万円減少しました。

固定負債については、6億4,517万円となり、前年度より3,525万円減少しました。また、流動負債は5億5,057万円で、前年度より7,579万円増加しました。これは期末未払金が増加したことによるものです。

純資産の部については、45億577万円となり、前年度より1億8,232万円減少しました。第1号基本金は1億3,938万円の組入を行いました。

貸借対照表

令和6年3月31日

(単位:円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	5,321,425,805	5,354,424,012	△ 32,998,207
有形固定資産	5,172,938,083	5,227,102,836	△ 54,164,753
土地	1,381,698,848	1,381,698,848	0
建物	3,093,296,039	3,128,580,653	△ 35,284,614
構築物	42,289,739	50,908,887	△ 8,619,148
教育研究用機器備品	74,243,873	86,681,043	△ 12,437,170
管理用機器備品	4,756,891	3,491,734	1,265,157
図書	576,652,692	575,741,669	911,023
車輛	1	2	△ 1
特定資産	87,829,183	82,696,358	5,132,825
退職給与引当特定資産	1,024,688	1,024,435	253
奨学振興引当特定資産	86,804,495	81,671,923	5,132,572
その他の固定資産	60,658,539	44,624,818	16,033,721
電話加入権	2,665,740	2,665,740	0
商標権	5,065,550	5,065,550	0
著作権	7,438,150	7,438,150	0
施設利用権	2,500,000	2,500,000	0
電信電話施設利用権	430,704	430,704	0
ソフトウェア	18,371,896	2,338,175	16,033,721
収益事業元入れ金	23,915,049	23,915,049	0
補償金	271,450	271,450	0
流動資産	380,082,278	488,864,250	△ 108,781,972
現金預金	238,907,821	440,394,713	△ 201,486,892
未収入金	139,818,813	41,652,688	98,166,125
収益事業勘定	104,253	450,472	△ 346,219
前払金	1,251,391	6,366,377	△ 5,114,986
資産の部合計	5,701,508,083	5,843,288,262	△ 141,780,179

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	645,170,476	680,424,388	△ 35,253,912
長期借入金	156,360,000	177,480,000	△ 21,120,000
長期未払金	8,029,780	17,623,540	△ 9,593,760
退職給与引当金	480,780,696	485,320,848	△ 4,540,152
流動負債	550,571,871	474,781,921	75,789,950
短期借入金	21,120,000	30,440,000	△ 9,320,000
未払金	107,747,542	53,119,307	54,628,235
前受金	370,571,090	343,980,860	26,590,230
預り金	51,133,239	47,241,754	3,891,485
負債の部合計	1,195,742,347	1,155,206,309	40,536,038

純資産の部

科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	12,449,090,985	12,309,706,766	139,384,219
第1号基本金	12,337,090,985	12,197,706,766	139,384,219
第4号基本金	112,000,000	112,000,000	0
繰越収支差額	△ 7,943,325,249	△ 7,621,624,813	△ 321,700,436
翌年度繰越収支差額	△ 7,943,325,249	△ 7,621,624,813	△ 321,700,436
純資産の部合計	4,505,765,736	4,688,081,953	△ 182,316,217
負債及び純資産の部合計	5,701,508,083	5,843,288,262	△ 141,780,179

(4) 財産目録

財産目録は、当法人が有する財産について、項目別に金額等の詳細を明らかにした書類で、私立学校法によって作成を求められています。

財産を土地、建物などの当法人が設置する学校に必要な施設及び設備あるいはこれらに要する資金としての基本財産、学校の運営に必要な財産としての運用財産、収益を目的とする収益事業財産に分けて表示しています。

学校法人杉野学園

財 産 目 録

令和6年3月31日

I 資産総額	6,084,074,023円
内 基本財産	5,217,725,028円
運用財産	866,348,995円
(内収益事業用財産	382,565,940円)
II 負債総額	1,241,460,958円
III 正味財産	4,842,613,065円

(単位:円)

区 分	金 額
(資産)	
1. 基本財産	5,217,725,028
土地	45,959.84 m ² 1,381,698,848
建物	39,069.61 m ² 3,093,296,039
構築物	42,289,739
図書	576,652,692
工具・教具及び備品	0
教育研究用機器備品	74,243,873
車輛	1
管理用機器備品	4,756,891
ソフトウェア	18,371,896
その他の基本財産	26,415,049
2. 運用財産	483,783,055

現金預金	238,907,821
積立金	
退職給与引当特定資産	1,024,688
奨学振興引当特定資産	86,804,495
未収入金	139,818,813
その他の運用資産	
電話加入権	2,665,740
商標権	5,065,550
著作権	7,438,150
電信電話専用施設利用権	430,704
保証金	271,450
前払金	1,251,391
収益事業勘定	104,253
3. 収益事業用財産	382,565,940
資 産 総 額	6,084,074,023
(負債)	
1. 固定負債	
長期借入金	156,360,000
退職給与引当金	480,780,696
長期未払金	8,029,780
2. 流動負債	
短期借入金	21,120,000
未払金	107,747,542
前受金	370,571,090
預り金	51,133,239
3. 収益事業負債	45,718,611
負 債 総 額	1,241,460,958
正味財産(資産総額 — 負債総額)	4,842,613,065